

日本の地図 オープンデータ・ポータル

ご購入はこちら

木田 和海

● お勧めする理由

オープンデータとは、「営利目的も含めた2次利用が可能な利用ルールで公開された、機械判読に適した形式のデータ」です注1。2012年に内閣官房IT総合戦略本部で決定された「電子行政オープンデータ戦略」を契機に、日本国内でも政府・自治体の公共データを開放する取り組みが活発になりました。このような動向の中、2014年に「ESRI ジャパン オープンデータポータル」(<http://data.esri.jp/>)が開設されました。

▶ データ形式を整え横断的に検索できるようにした

当時、オープンデータの検索やダウンロードが可能なデータ・カタログ・サイトを開設した国内の自治体は少なく、また、データ形式もPDFやCSV、Excelなど自治体やデータソースによってばらばらでした。そのため、これらのデータが実際のどの位置に関連したデータであるかを俯瞰して確認することが難しく、さらに、マップの作成や空間的な分析を行うためにはデータの加工も必要でした。

自治体のオープンデータは、施設の位置データなど現実の位置に紐付けられる情報を含むことが多く、いわば地理情報の宝庫です。そこで、地理情報オープン

データをいっそう活用できるようにするべく、全国の自治体が2014年当時に公開していたオープンデータを「ESRI ジャパン オープンデータポータル」にて横断的に検索できるようにし、マップ上でのデータ内容の確認や、公開元のサイトでは手に入らない複数のデータ形式でのダウンロードを可能にしました。

▶ GISツールですぐに利用できる形式で提供する

このポータル・サイトを公開するために、ESRI ジャパンにて各自治体のオープンデータ公開ページにアクセスし、約700種類のオープンデータをダウンロードしました。その上で、GISですぐに利用できる形式にデータを加工してクラウド上にアップロードし直し、各データのライセンス(利用規約)を明示してこのポータル・サイトに公開する作業を行っています。GISデータ形式で、商用利用も含め2次利用が可能な国内のオープンデータがこれだけの数で入手できるサイトは、他に類を見ません。

このポータル・サイトは、米国Esri社が提供する「ArcGIS Open Data」を使っています。ArcGIS Open Dataは、オープンデータの検索やダウンロードを行うサイト(データ・カタログ・サイト)を構築するためのウェブ・アプリケーションです。

注1：一般社団法人 オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構「オープンデータガイド～オープンデータのためのルール・技術の手引き～ 第2版」。

注2：データセットとは、「オープンデータガイド 第2版」によると、複数のデータ(リソース)をまとめたもので、例えば「○年統計データ」、「××地区温度データ」などのことを指す。

表1 自治体や政府が公開しているデータはさまざま
ESRI ジャパン オープンデータポータルで公開中のデータセット例

種類	データセット例	備考
都市計画	都市計画区域、都市計画道路、都市計画公園、都市計画現況図など	区画や道路など詳細なデータを入手可能。室蘭市や鯖江市のものは必見
施設	公共機関、スポーツ施設、文化施設、公共トイレなど	市役所など公的施設のデータが充実
防災	土砂災害警戒区域、避難所、防災設備設置箇所など	避難所などの点データに加え、災害警戒区域などの面データもあり
教育	保育園・幼稚園、小・中学校、高等学校、図書館、児童館など	学校の施設データが多数あり。栃木県や愛知県のは網羅的
医療	AED、病院、歯科、救急診療所、介護・福祉施設など	病院、診療所など身近な医療施設データを入手可能
観光	観光施設、景観・風景、直売所、お店、文化財、ロケ地など	各地域の特色あるデータが多数あり。静岡県の「ふじのくにエンゼルパワースポット」なるデータも
交通	バス停、駅など	コミュニティ・バスの停留所データが充実